

審 議 会 等 の 会 議 結 果 報 告 書

		課所名	健康推進課
会 議 名	令和 8 年度 第 1 回 諏訪市健康づくり推進協議会		
開催日時	令和 8 年 7 月 30 日（木） 午後 1 時 30 分 ～ 午後 2 時 42 分		
開催場所	諏訪市保健センター2 階 多目的ホール		
出席者	（出席者） 小林良清委員、高林康樹委員、清水俊樹委員、牧内明美委員、笠原健一委員、伊藤俊晴委員、翁像京子委員、小平広志委員、河西秀樹委員、進藤久美委員、矢崎敏江委員、伊藤隆委員、嶋田優委員、五味武嗣委員、宮下和昭委員、藤森順一委員 宮野孝樹委員 後藤慎二副市長、宮坂吉郎健康福祉部長、雨宮寛之健康推進課長、矢澤祐美健康予防係長、小口直子健康支援係長、蟹江千絵健康支援係長 笠原和洋健康予防係主査、京谷春奈健康予防係主事 （欠席者） 小島光治委員		
資料	別添		
協議議題（内容）及び会議結果（要旨）			
1. 開会（健康推進課長）			
委嘱状交付			
2. 副市長あいさつ（副市長）			
今年度の当協議会の委員を引き受けていただいたことに、心から御礼申し上げます。それぞれの立場における知見をもって、当市の総合的な健康づくりの推進に力添えを賜り、重ねて御礼申し上げます。 さて、先日の熊本の地震は、大変な地震であった。まだ全容はつかめていないが、亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方にお見舞いを申し上げます。ご承知のとおり、諏訪地域も断層が重なる場所があり、いざというときに、いかに被害を少なくできるか、改めて日頃の備えの大切さを痛感している。また、現地で今も避難生活を送られている方々や救護活動に当たっている方々は、その暑さとの戦いもあろうかと思う。近年の温暖化による夏の暑さ、酷暑は、大きな健康課題であるとも思っている。各種検診や適度な運動、バランスの取れた食事に加えて、夏の暑さ対策も健康づくりの一つの大切な柱になってくると思う。 本日は、昨年度の事業の報告、また、今年度の事業の計画等について、皆様のご意見を伺えればと思っているので、ぜひ活発なご議論をお願い申し上げ、冒頭の挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いします。			
（会長及び副会長の選出）			
諏訪市健康づくり推進協議会設置要綱第 5 条の規定に基づき、当協議会の会長に諏訪市医師			

会の高林康樹会長、副会長に諏訪市地域医療・介護連携推進センターの矢崎敏江副センター長を選出した。

3. 会長あいさつ（高林会長）

本日は、ご参加いただき、ありがとうございます。猛暑の中、暑さ対策をしながらお願いしたい。先日の熊本地震は、様々な被害の写真が出てきて大変驚いた。地震は突然やってくるので、いかに想定外を想定していくか、臨機応変な対応が必要であり、そのためには様々な行動判断が必要であると痛感した。

今年度は、健康づくり計画が新しく策定され、初年度となる。前年度の事業報告や今年度の事業についてご審議をいただくことになるが、よろしくお願いしたい。

4. 議事（進行：会長）

(1) 令和7年度 健康増進事業等の実施について（報告）

(2) 令和8年度 健康増進事業等の実施について

■質疑応答・意見

【委員】子宮がん検診や乳がん検診の対象者数が5年間同じ人数になる理由は、国勢調査に基づくものか。

【事務局】そのとおりである。

【委員】肝炎ウイルス検診とヘリコバクター・ピロリ抗体価検査の対象者の算出方法は。

【事務局】5年に一度、受けられるよう年齢を区切っている。特定健診の中で検査ができるため、特定健診の対象となる年齢のうち、該当の検診を受けたことのない人を対象としている。

【委員】対象者数が減ってきてもいいと思うがいかがか。

【事務局】ピロリ抗体価検査は、令和4年度から令和5年度にかけて、対象者数が500人程減っている。

【委員】ピロリ菌はそうだと思うが、肝炎ウイルス検診は同じ人数で推移している。5年ごとに案内するよりも受けていない人には受けてもらいたい検査だと思うので、そのような取扱いを検討していただきたい。

【委員】諏訪市保健補導員連合会について、県組織を抜けた経緯は。

【事務局】近年、各地区の保健補導員になる方がなかなか見つからない状況がある。役員になるということは負担が大きく、さらに県組織の役職もあるため、なるべく負担を減らすという観点から、諏訪地域全体で相談をして、そのようにさせていただいた。

【会長】諏訪市保健補導員連合会の会長から何かあるか。

【委員】補導員の負担を減らすため、他の会議の出席者を理事で分担しており、負担は大きく感じていない。

【会長】出生数について、ご意見をお願いしたい。

【委員】今後、近隣の医院で分娩を停止していくという情報があり、影響を受けると思うので、周産期センターとして、妊婦だけではなく、生まれたお子さんへの対応についても少しずつ準備をしている。

【会長】歯科の関係は、いかがか。

【委員】行政の検診が部分的な検診であるため、かかりつけ歯科医を持っている方が受診する

際には、保険診療で行う大きな検査を勧めていることから、歯科検診の受診率が下がっていると思う。他市では、そのような検診を市の受診率の算定に含めている事例がある。

【会長】すわっこランドの使用料改定の報告があったが、いかがか。

【委員】私もすわっこランドを利用している。午後 8 時以降や市民特別割引券を優先的に利用している。物価高であるため、皆さんもなるべくお金がかからないように利用されていると感じる。市の財政状況等を考慮して、判断されればと思う。

(3) 諏訪市食育推進計画専門委員会の開催について（報告）

■質疑応答・意見

【委員】学校給食で食育を重点的に行ってきたが、地域に生きていないと思う。課題として出された家庭において食をどのように作っていくかは、私が活動している部分でもお手伝いができと思う。食事の重要性に関して、義務教育の中で教えてもらえない部分については、諏訪市の方針に沿って、協力していきたい。

【委員】食事を作る人に知識がないと、栄養バランスの良い食事が作れない。子どもたちが家族と一緒に食事をする機会が減っていて、一人でコンビニの弁当を食べることもある。食改では、食を通じて健康管理に取り組んでおり、自分たちで勉強しながら、教室を開催している。今年は、男性向けの料理教室を計画したが、人が集まらずに中止したので、PR も課題である。今後も食育の推進に取り組んでいきたい。

【委員】市の各部署における取組をまとめているが、他の団体が取り組んでいるものを内容に入れ込むことによって、市全体の取組が確認できるようになると思う。

(4) 諏訪市自殺予防対策推進専門委員会の開催について（報告）

■質疑応答・意見

【委員】学校現場で見えていて、理由は様々であるが、心の相談が多い。不安定な家庭環境、AI や SNS の普及が思春期の子どもたちの心の健康に影響を及ぼしていると思う。親子の愛情が必要な幼少期がコロナ禍で、人と距離を離しましょうという環境の中で育ったお子さんたちが、幼少期の人間関係の中での経験が不足し、心の健康に影響を及ぼしているのではという話がある。一日の多くを過ごす学校生活の中で、身近に信頼できる教員たちが信頼できる大人でいることが大事だと思うし、ぜひ地域の皆さんにもそういう存在であり続けて欲しいと思う。

5. その他（健康推進課長）

6. 閉会（矢崎副会長）

本日は、ありがとうございました。健康づくり計画の基本理念である、健康でいきいきと暮らせる社会の実現、健康寿命の延伸、平均寿命と健康寿命の差の縮小に向けて、令和 7 年度の報告があった。自立した生活を送るためには、ご自身の健康状態を知ることが大変重要だと考えている。検診は、その大事な機会となり、検診を受けて異常があれば早めに医療機関を受診して適切な治療を開始することができる。今回の熊本地震でも被災された方々が車の中に避難されているような報道がされている。災害はいつ来るかわからない。備えておいても、その備えが通じることがいかにもわからない。ご自身が病状や飲んでいる薬を理解さえすれば、薬が手元になくても、

薬を手に入れることもできると思うし、受診につながって体調の悪化を防ぐことができるのではないかと思う。行政でも検診の受診勧奨の働きを強くしているが、やはり身近な方から受診を勧めたほうが一番効くと思うので、私も皆様も身近な方に声がけをしていただいて、受診率を上げることができればと考える。本日は、日々欠かせない食事や日頃あまり耳にしない小中学生の自殺について聞くことができ、有意義な時間だった。本日は熱心にご審議いただき、誠にありがとうございました。

(午後 2:42 終了)